

日程表

9月2日(金)

9:00	9:15～9:20 開会式
	9:20～10:00 一般演題1「上部消化管粘膜障害（臨床的研究）」 座長：増山仁徳
10:00	10:02～10:42 一般演題2「上部消化管粘膜障害（基礎的研究）」 座長：春日井邦夫
	10:44～11:24 一般演題3「ストレス反応」 座長：中島典子
11:00	11:25～11:50 ミニレクチャー「水浸拘束ストレス潰瘍の発明、意義、そして最近の話題」 座長：奥村利勝 演者：岡部 進
12:00	12:00～12:50 ランチョンセミナー1「逆流性食道炎の治療戦略～夜間酸逆流を踏まえて～」 座長：内藤裕二 演者：藤原靖弘 特別発言：樋口和秀 共催 大塚製薬株式会社
13:00	13:00～13:50 特別講演(Ⅰ)「脳内オレキシンシグナルの低下はIBSを引き起こす」 座長：荒川哲男 演者：奥村利勝
14:00	14:00～14:40 一般演題4「ヘリコバクター・ピロリ」 座長：榊 信廣
	14:41～15:31 一般演題5「小腸粘膜障害」 座長：平石秀幸
15:00	15:32～16:02 一般演題6「IBD（臨床的研究）」 座長：野津 司
16:00	16:03～16:43 一般演題7「IBD（基礎的研究）」 座長：谷中昭典
17:00	16:50～18:30 シンポジウム1「全消化管疾患とmicrobiome」 座長：伊藤 誠、藤本一眞 基調講演：竹内孝治 演者：内藤裕二、安藤 朗 特別発言：寺野 彰
18:00	共催 EA ファーマ株式会社
	18:45～20:30 懇親会（3F 瑞雲の間）

9月3日(土)

8:00	8:10 ~ 8:55 モーニングセミナー「抗血栓薬による消化管出血の対策」 座長：田中三千雄 演者：加藤元嗣 共催：武田薬品工業株式会社
9:00	9:00 ~ 10:55 シンポジウム2「炎症性腸疾患診断と治療 Up to date 2016」 座長：松本主之、斉藤 裕輔 演者：稲場 勇平、本谷 聡、平井郁仁、川崎啓祐
10:00	
11:00	11:00 ~ 11:45 特別講演（II）「Paneth 細胞が担う腸内細菌との共生と疾患」 座長：屋嘉比康治 演者：綾部時芳
12:00	11:45 ~ 12:15 特別企画「医療財政の課題と展望」 座長：原田一道 演者：見明奈央子
13:00	12:20 ~ 13:10 ランチョンセミナー2「適正な GERD 診療を考える～PPIの有効性と安全性～」 座長：鈴木秀和 演者：小池智幸 共催：第一三共株式会社／アストラゼネカ株式会社
	13:15 ~ 13:40 評議員総会
14:00	13:40 ~ 15:10 ワークショップ「既存医薬品の消化器病への適用拡大における理論構築 ～これぞ消化器薬理学の力～」 座長：内藤裕二、堀江俊治 演者：堀 正敏、加藤伸一、渡辺俊雄、川畑篤史 ディスカッサー：渡 二郎、中村正彦、辻 晋吾
15:00	15:10 ~ 15:20 表彰式・閉会式

プログラム

9月2日(金)

旭川グランドホテル3階 彩雲の間

開会式

9:15 ~ 9:20

一般演題1 上部消化管粘膜障害(臨床的研究)

9:20 ~ 10:00

座長: 増山 仁徳(医療法人 増山胃腸科クリニック)

**OS1-1 胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の胃潰瘍治療の検討
— VonoprazanとRabeprazoleの前向き比較試験—**

¹大阪医科大学附属病院 第二内科、²第一東和会病院

平井 あい¹、竹内 利寿¹、小嶋 融一¹、時岡 聡²、樋口 和秀¹

OS1-2 当院における胃ESD後の人工潰瘍治癒に影響する因子の検討

愛知医科大学 消化管内科

下郷 彰礼、岡庭 紀子、山口 純治、増井 竜太、舟木 康、小笠原 尚高、
佐々木 誠人、春日井 邦夫

OS1-3 急性食道粘膜病変(acute esophageal mucosal lesion; AEML)の検討

佐賀大学 医学部 附属病院 消化器内科

山本 甲二

OS1-4 抗凝固薬による剥離性食道炎の検討

¹筑波大学附属病院 光学医療診療部、²筑波大学 医学医療系 消化器内科

奈良坂 俊明¹、坪 大輔²、鈴木 英雄¹、溝上 裕士¹

一般演題2 上部消化管粘膜障害(基礎的研究)

10:02 ~ 10:42

座長: 春日井 邦夫(愛知医科大学 消化管内科)

OS2-1 Compound 48/80惹起急性胃粘膜傷害における内因性一酸化窒素の役割

¹藤田保健衛生大学 医学部 化学、²藤田保健衛生大学 第2教育病院 消化器内科、

³名古屋ビルセントラルクリニック

八代 耕児¹、小林 隆²、芳野 純治³、太田 好次¹

OS2-2 非ステロイド性抗炎症薬によるマウス胃幽門前庭部潰瘍の発症に及ぼす食餌の影響と抗潰瘍薬の作用

同志社女子大学 薬学部 病態生理学研究室
佐藤 宏、漆谷 徹郎

OS2-3 生薬甘草有効成分イソリクイリチゲニンはインフラマソーム活性化阻害作用を介して非ステロイド系抗炎症薬起因性小腸傷害を抑制する

大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器内科学
谷川 徹也、渡辺 俊雄、灘谷 祐二、大谷 恒史、富永 和作、荒川 哲男、藤原 靖弘

OS2-4 ウレタン麻酔下ラットにおけるワサビ辛味成分アリルイソチオシアネートによる胃粘膜微小炎症の惹起

—TRPA1チャンネル、一酸化窒素、および、プロスタグランジンの関与—

城西国際大学 薬学部 薬理学研究室
田嶋 公人、堀江 俊治

一般演題3 ストレス反応

10:44 ~ 11:24

座長：中島 典子(日本大学医学部 消化器肝臓内科)

OS3-1 末梢 corticotropin-releasing factor と胃運動
—functional dyspepsia との関連について

¹旭川医科大学 地域医療教育学講座、
²旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野
野津 司¹、奥村 利勝²

OS3-2 心理的ストレスモデルにおけるグレリン動態ならびに反応性に関する性差

¹株式会社ツムラ 製品戦略本部 ツムラ研究所、²北海道大学大学院 薬学研究院 臨床病態解析学、
³北海道大学病院 消化器内科
山田 ちひろ¹、服部 智久¹、武田 宏司^{2,3}

OS3-3 六君子湯活性成分のCRF1受容体拮抗作用および脳局在が、ストレス誘発性食欲不振に対する改善作用に寄与する

¹株式会社ツムラ 製品戦略本部 ツムラ研究所、²北海道大学大学院 薬学研究院 臨床病態解析学、
³北海道大学病院 消化器内科
最上 祥子¹、山田 ちひろ¹、服部 智久¹、武田 宏司^{2,3}

OS3-4 若齢ならびに加齢マウスのwater avoidance stress負荷による摂食行動の解析

¹株式会社ツムラ 製品戦略本部 ツムラ研究所、²北海道大学大学院 薬学研究院 臨床病態解析学、
³北海道大学病院 消化器内科
服部 智久¹、山田 ちひろ¹、最上 祥子¹、武田 宏司^{2,3}

ミニレクチャー 水浸拘束ストレス潰瘍の発明、意義、そして最近の話題

11:25～11:50

座長：奥村 利勝(旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野(第三内科))

ML 水浸拘束ストレス潰瘍の発明、意義、そして最近の話題

京都消化器疾患リサーチセンター

岡部 進

ランチョンセミナー 1 逆流性食道炎の治療戦略～夜間酸逆流を踏まえて～

12:00～12:50

座長：内藤 裕二(京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科学)

共催：大塚製薬株式会社

LS1 逆流性食道炎の治療戦略～夜間酸逆流を踏まえて～

大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学

藤原 靖弘

特別発言 樋口 和秀(大阪医科大学 第二内科)

特別講演(Ⅰ) 脳内オレキシンシグナルの低下はIBSを引き起こす

13:00～13:50

座長：荒川 哲男(公立大学法人 大阪市立大学)

SL1 脳内オレキシンシグナルの低下はIBSを引き起こす

旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野(第三内科)

奥村 利勝

一般演題4 ヘリコバクター・ピロリ

14:00～14:40

座長：榊 信廣(公益財団法人 早期胃癌検診協会)

OS4-1 胃粘膜萎縮を用いた除菌後内視鏡検査の適正インターバルの推定

—除菌後胃癌の検討を通して—

¹増山胃腸科クリニック、²獨協医科大学 消化器内科、³獨協医科大学 病理診断学講座、

⁴獨協医科大学 医療情報センター、⁵獨協学園

増山 仁徳¹、笹井 貴子²、山岸 秀嗣³、中村 哲也⁴、寺野 彰⁵、平石 秀幸²

OS4-2 *Helicobacter heilmannii* 感染マウスにおける壁細胞 apoptosis:
lansoprazole および vonoprazan の影響

¹北里大学 薬学部 病態解析学、²北里研究所病院、³北里大学 北里生命科学研究所
中村 正彦¹、Anders Overby¹、土本 寛二²、松井 英則³

OS4-3 当院の世代別 *Helicobacter pylori* 除菌成績

京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学教室
向井 理英子、半田 修、堅田 和弘、鎌田 和浩、内山 和彦、高木 智久、
内藤 裕二、吉川 敏一

OS4-4 Non-*Helicobacter pylori*-Helicobacters cultivated in vitro;
assessment of growth conditions and drug tolerance

北里大学薬学部病態解析学
Overby Anders、中村 正彦

一般演題5 小腸粘膜障害

14:41 ~ 15:31

座長：平石 秀幸(獨協医科大学 消化器内科)

OS5-1 経皮的冠動脈形成術後の抗血小板薬服用中の患者に対する小腸粘膜傷害の検討

大阪医科大学附属病院
原 あずさ、竹内 利寿、樋口 和秀

OS5-2 広範な小腸粘膜の脱落を来たした食物アレルギーの一例

¹獨協医科大学消化器内科、²増山胃腸科クリニック、³獨協医科大学病理診断学講座
嘉島 賢¹、笹井 貴子¹、福土 耕¹、平石 秀幸¹、増山 仁徳^{1,2}、山岸 秀嗣³

OS5-3 5-Fluorouracil 起因性消化管粘膜傷害に対する成分栄養剤の防御的役割

¹北里大学大学院 医療系研究科、²北里大学 医学部 消化器内科、³北里大学保健衛生専門学院
香渡 優^{1,2}、川島 麗¹、川上 文貴¹、石原 和彦³、五艘 行信¹、市川 尊文¹

OS5-4 NSAIDs 起因性小腸粘膜傷害に対するエグアレンの効果
—基礎実験およびヒトでの検討—

¹大植会 葛城病院 内科、²大阪医科大学 第二内科
井口 宗威¹、竹内 利寿²

OS5-5 抗がん剤誘起腸炎の病態におけるアポトーシス、腸内細菌および
炎症性サイトカインの関与

¹京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野、²ピオフェルミン製薬株式会社 R&Dセンター
天ヶ瀬 紀久子¹、内海 大知¹、松本 健次郎¹、嶋川 真木²、加藤 伸一¹

一般演題6 IBD（臨床的研究）

15：32～16：02

座長：野津 司(旭川医科大学 地域医療教育学講座)

OS6-1 活動性クローン病に対するアダリムマブ・顆粒球除去強化併用療法の長期有効性の検討

¹名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器代謝内科学、
²名古屋市立大学大学院医学研究科 次世代医療開発学
谷田 諭史¹、尾関 啓司¹、片岡 洋望¹、神谷 武²、城 卓志¹

OS6-2 潰瘍性大腸炎に対する、PSL free intensive GCAP治療の循環頻度の違いによる治療効果と、1年後の粘膜治癒【第二報】

大森敏秀胃腸科クリニック
大森 敏秀

OS6-3 潰瘍性大腸炎における粘膜再生過程の内視鏡所見およびAFI画像定量化による重症度評価

旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科学
藤谷 幹浩、奥村 利勝

一般演題7 IBD（基礎的研究）

16：03～16：43

座長：谷中 昭典(筑波大学 医学医療系 日立社会連携教育研究センター)

OS7-1 乳酸菌由来のポリリン酸を用いた新規IBD治療薬の開発

旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科学
藤谷 幹浩、奥村 利勝

OS7-2 Gタンパク共役型受容体GPR35の大腸上皮細胞の遊走における役割

京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野
塚原 卓矢、内海 大知、松本 健次郎、天ヶ瀬 紀久子、加藤 伸一

OS7-3 大建中湯による腸管粘膜治癒効果の検討

京都府立医科大学 消化器内科
豊川 優季、高木 智久、内山 和彦、田中 信、井上 健、堅田 和弘、
半田 修、内藤 裕二

OS7-4 マウス実験大腸炎モデルにおけるSecreted Protein Acidic and Rich in Cysteine (SPARC)の役割に関する検討

京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科
田中 信、高木 智久、内山 和彦、柏木 里織、豊川 優季、堅田 和弘、
半田 修、内藤 裕二

シンポジウム1 全消化管疾患と microbiome

16:50 ~ 18:30

座長：伊藤 誠(名古屋市立大学名誉教授)

藤本 一真(佐賀大学医学部 消化器内科)

共催：EAファーマ株式会社

基調講演 “全消化管と microbiome” —小腸損傷の発生における腸内細菌の重要性—

京都薬科大学名誉教授

竹内 孝治

S1-1 腸内フローラに影響する多彩な因子

京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学

内藤 裕二

S1-2 全消化管疾患と microbiome

滋賀医科大学医学部消化器内科

安藤 朗

特別発言 寺野 彰(学校法人獨協学園)

9月3日(土)

旭川グランドホテル3階 彩雲の間

モーニングセミナー 抗血栓薬による消化管出血の対策

8:10～8:55

座長：田中 三千雄(富山大学名誉教授)
共催：武田薬品工業株式会社

MS 抗血栓薬による消化管出血の対策

国立病院機構函館病院

加藤 元嗣

シンポジウム2 炎症性腸疾患診断と治療 Up to date2016

9:00～10:55

座長：松本 主之(岩手医科大学 消化器内科消化管分野)
齊藤 裕輔(市立旭川病院)

S2-1 IBDの内視鏡診断/鑑別診断の up to date

市立旭川病院 消化器病センター

稲場 勇平

S2-2 IBD治療における薬物治療の Up to date

札幌厚生病院 IBDセンター

本谷 聡

S2-3 IBDにおける内視鏡治療の Up to date

福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター

平井 郁仁

S2-4 潰瘍性大腸炎における cancer/dysplasia の診断と治療の up to date

¹岩手医科大学消化器内科消化管分野、²岩手医科大学病理診断学講座

川崎 啓祐¹、菅井 有²、松本 主之¹

特別講演(II) Paneth細胞が担う腸内細菌との共生と疾患

11:00～11:45

座長：屋嘉比 康治(埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

SL2 Paneth細胞が担う腸内細菌との共生と疾患

北海道大学大学院先端生命科学研究所 細胞生物科学分野

綾部 時芳

特別企画 医療財政の課題と展望

11:45～12:15

座長：原田 一道(医療法人社団 はらだ病院)

SP 医療財政の課題と展望

国際通貨基金 アジア太平洋地域事務所 エコノミスト

見明 奈央子

ランチオンセミナー 2 適正な GERD 診療を考える～ PPI の有効性と安全性～

12:20～13:10

座長：鈴木 秀和(慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター)

共催：第一三共株式会社/アストラゼネカ株式会社

LS2 適正な GERD 診療を考える～ PPI の有効性と安全性～

東北大学病院 消化器内科 / 消化器内視鏡センター

小池 智幸

ワークショップ 既存医薬品の消化器病への適用拡大における理論構築 ～これぞ消化器薬理学の力～

13:40～15:10

座長：内藤 裕二(京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学)

堀江 俊治(城西国際大学 薬学部 薬理学研究室)

W-1 モサプリドクエン酸塩と大建中湯による抗炎症作用機構

東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医薬理学研究室¹、北里大学東洋医学総合研究所²

堀 正敏¹、遠藤 真理²、及川 哲郎²、尾崎 博¹

W-2 セロトニン/5-HT₃ 受容体およびサブスタンス P/NK1 受容体を標的とした 消化管炎症制御への応用

京都薬科大学 病態薬科学系薬物治療学分野

加藤 伸一、内海 大知、松本 健次郎、天ヶ瀬 紀久子

W-3 NLRP3 インフラマソーム活性化阻害薬としてのコルヒチン —NSAIDs 起因性小腸傷害の治療薬としての可能性—

¹大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学、²大阪市立大学大学院医学研究科 国際消化管研究センター

渡辺 俊雄^{1,2}、大谷 恒史¹、東森 啓¹、灘谷 祐二¹、谷川 徹也^{1,2}、富永 和作^{1,2}、
藤原 靖弘^{1,2}、荒川 哲男¹

W-4 トロンボモジュリンアルファの内臓痛治療への応用

近畿大学薬学部病態薬理学研究室

川畑 篤史

ディスカッサー 渡 二郎(兵庫医科大学 内科学 消化管科)

中村 正彦(北里大学薬学部 病態解析学)

辻 晋吾(JCHO大阪みなと中央病院)

表彰式・閉会式

15:10～15:20